



2008年12月25日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
 代表者名 社 長 井筒 雄三
 コード番号 5214 東証・大証第一部
 問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美
 TEL 077(537)1700

四半期業績の見通し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

1. 平成21年3月期 第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～12月31日)業績見込み

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成21年3月期 第3四半期連結累計期間 (見込み)	百万円 274,000	百万円 73,000	百万円 68,000	百万円 37,000
(ご参考) 前年同期(実績)	265,564	68,225	66,818	34,613

〈備 考〉

主力のFPD用ガラスを中心に良好な需給環境の下堅調な業績を上げることができた第1四半期(平成20年4-6月期)に対して、第2四半期(同7-9月期)以降は液晶用基板ガラスの得意先による生産調整に伴う需要の減少や製品価格の下落などの影響を受け業績が減速しました。

とりわけ第3四半期(同10-12月期)に入ると、金融危機に端を発した世界的な景気後退により、経営環境が予想を超えて急激に悪化しました。このため第3四半期の業績は、液晶用基板ガラスをはじめとする製品需要の急減による販売の減少とこれによる収益性の低下などにより、前年同期(平成19年10-12月期)実績を大幅に下回る見込みです。

2. 平成21年3月期 第4四半期(平成21年1月1日～3月31日)の見通し

第4四半期についても、現下の厳しい事業環境が続く見通しであり、需要の低迷や製品価格の下落、大幅な減産に伴う収益性の低下などが業績を大きく圧迫するものと予想されます。

当社といたしましては、需要に見合った稼働に徹し、在庫の圧縮と費用の削減を推し進めることにより、収益の確保に全力を上げてまいり所存でございます。

以上により、前年同期比較で、売上げは-30%~-60%程度を、また営業利益は-100%~-145%程度を予想しております。

3. 平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績予想の修正

(1)連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	390,000 ~430,000	100,000 ~130,000	100,000 ~130,000	60,000 ~75,000	120.63 ~150.79
今回修正予想(B)	310,000 ~340,000	55,000 ~70,000	45,000 ~60,000	20,000 ~30,000	40.20 ~60.30
増減額 (B-A)	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-
前期実績	368,267	100,882	96,942	50,668	105.29

(2) 単独

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	320,000 ~360,000	90,000 ~120,000	90,000 ~120,000	55,000 ~70,000	110.54 ~140.68
今回修正予想(B)	250,000 ~280,000	45,000 ~60,000	45,000 ~60,000	20,000 ~30,000	40.20 ~60.30
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	303,616	92,592	93,740	53,081	110.30

<備考>

上述の業績見通しを踏まえ、連結、単独ともに、去る4月30日に公表した平成21年3月期の通期業績予想を上記各表のとおり修正するものです。

上記の見込み数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以 上